

No.	39	事業名	区民まつりの開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	地域の歴史・文化の発信やスポーツの振興、青少年の育成を図るとともに、環境にやさしく、安心・安全で快適な中川区を目指した取り組みを実施する。 また、区民まつりを通してふれあいや交流の推進と、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図る。				
課題	中川区は東西に広い地形であり、西・中央・東地区の公園を3年周期で巡回し、区民まつりを開催しているが、それぞれの地区の特色に合わせた企画を充実させていく必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民まつりの開催</li> <li>[実施時期] 令和2年10月25日(日)</li> <li>[場 所] 富田公園</li> <li>[内 容] ①地域特色事業 富田地区の歴史的な街並みや豊かな自然を生かし、伝統的なまつりや都市農業の魅力を伝える企画を実施する</li> <li>②継続事業 ステージイベントの他、大人から子どもまで楽しめる各種ゲームや体験ブース、模擬店などを実施する</li> </ul>				
計画目標	区民まつりの開催 1回				

No.	40	事業名	スポーツ・生涯学習の推進	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	スポーツ推進委員、体育協会、各種スポーツ関係団体と協力したスポーツ大会や美術展、いけ花展などの文化活動を通じて、心身ともに健康で明るい生活を築き、広く区民に参加していただくことにより、区民のふれあいと交流の推進を図る。				
課題	参加者数の減少と高齢化が進んできているため、多くの方に参加していただく方を検討する必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区スポーツ祭の開催 [実施時期] 令和2年4月～11月 [場 所] 市内各スポーツ施設 [内 容] 学区対抗で各種スポーツ大会の開催</li> <li>2 区民美術展の開催 [実施時期] 令和2年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示</li> </ol>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区スポーツ祭の開催 1回</li> <li>・区民美術展の開催 1回</li> </ul>				

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	41	事業名	利家お宝ミステリーツアー	区分	新規
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	加賀百万石の礎を築いた戦国武将である前田利家に関する区内の歴史的 魅力と、事業者による新たな取り組みをうまく絡み合わせ発信することで、 中川区の魅力と賑わいを高めていく。				
課題	前田利家生誕の地としての魅力を、より伝えていくための企画を立案して いく必要がある。				
事業内容	<p>1 スタンプラリーキャンペーンの実施 令和元年度に開始した「前田利家オリジナル商品取扱店」制度に登録して いる前田利家ゆかりのオリジナル商品を取り扱う店舗に、スタンプラリー台 を一定期間設置してもらうことで、実際にオリジナル商品取扱店を回って もらうスタンプラリーキャンペーンを実施する。 [実施時期]令和3年1~2月の間で1ヶ月程度(仮)</p> <p>2 利家お宝ミステリーツアーの実施 通常では見ることのできない前田利家ゆかりのお宝を巡るほか、七宝焼き アートビレッジで、自分だけのツアー限定キーホルダーをつくるバスツアー を実施(ラリー参加者の中から抽選)。 また、バスで移動中には、ガイドボランティアによる前田利家にまつわる 小話も聞ける。 [実施時期]令和3年3月(仮)</p>				
計画目標	利家お宝ミステリーツアーの実施 1回				

No.	42	事業名	川を生かしたまちづくり	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	土木事務所、環境事業所		
趣旨	区名の由来となった中川運河をはじめ、7つの河川が流れる豊かな水辺環境に 親しみを持ち、興味や関心を深めるきっかけを提供し、魅力を発見・発信する。				
課題	中川区の特色である豊かな水辺環境の魅力を、より伝えていくための企画を 立案していく必要がある。				
事業内容	<p>1 中川運河の魅力発見 船上と地上の双方の視点から運河に親しむクルーズとまち歩きを実施する。 [実施時期]令和2年11月(仮)</p> <p>2 庄内川の魅力発見 大学や企業のボート部からなる協議会と協力し、親子を対象としたボート 教室を実施する。 [実施時期]令和2年4~6月頃</p> <p>3 戸田川の魅力発見 戸田川上流域にて地域住民や企業などとともに大清掃を実施する。 [実施時期]令和2年11月3日(日)</p>				
計画目標	中川運河、庄内川及び戸田川の魅力発見事業の実施 各1回				

No.	43	事業名	未来のものづくりびと育成プロジェクト	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	区東部の中川運河沿いを中心に、区内では多くの製造業が活躍している。これからを担う子どもたちに、ものづくりの楽しさや役割を伝えていくことで、未来のものづくりの発展につなげる。				
課題	中川区の特色であるものづくりの魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施</li> <li>[実施時期] 令和2年12月下旬(仮)</li> <li>[場 所] 区内のものづくり企業(3社程度)</li> <li>[内 容] 区内のものづくり企業などの協力を得て、親子を対象とした工場見学やものづくり体験を実施する</li> </ul>				
計画目標	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回				

No.	44	事業名	まちの歴史文化を伝える・広める	区分	継続
担当課	地域力推進室、支所区民生活課	関係部署(所)	—		
趣旨	区民が主体となって、区内の歴史・文化財・街道などの幅広い魅力を積極的に発信するとともに、ふれあいや交流を図るイベントを実施することで訪れたいくなるまちをめざす。				
課題	地域活動団体が、ある一定以上のレベルで区内見どころのガイドを行えるなど区内の歴史的魅力を継続的に発信していけるための適切な支援を行っていく必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 区内見どころのガイドボランティア活動の支援</li> <li>(2) 区内見どころマップ等の刷新検討</li> <li>(3) 区民まつりにおける区内の魅力発信</li> <li>(4) 区内まち歩きイベントの実施</li> </ul>                     [実施時期] 令和3年2月(仮)                 </li> <li>2 富田地区のふれあいあるまちづくり                     富田地区ウォーキング大会                     [実施時期] 令和3年2月～3月(仮)                 </li> </ol>				
計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回				

No.	45	事業名	ナッピーによるふれあい・啓発活動	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	中川区マスコットキャラクター「ナッピー」と「ハボン」を活用し、区の取り組みや魅力を効果的にPRしていく。				
課題	「ナッピー」、「ハボン」ともに、その認知度の向上に努めていく必要がある。				
事業内容	ナッピーを通じた広報を実施することで、区政への関心や親しみを高める。 1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製				
計画目標	着ぐるみの活用 30回				



区のマスコットキャラクター ナッピー  
 みんなと触れ合うことが大好きな  
 不思議な川の生き物



区のマスコットキャラクター ハボン  
 体は小さいけれど、花をきれいに  
 咲かせることが大好きなハボタンの妖精

No.	46	事業名	地産地消フェアの開催	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣旨	区内で採れた新鮮な農産物や加工品の販売などを、農業協同組合や農家、中川商業高校と協働で実施し、大人も子どもも楽しく地元の農業について知っていただく機会とする。				
課題	より多くの区民に名古屋市の農業の魅力を伝え、地産地消を身近に感じていただく必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消フェアの開催                      [実施時期] 令和2年11月7日(土)                      [場 所] 区役所駐車場                      [内 容]                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① あいち伝統野菜である、「野崎白菜」をはじめ「八事五寸にんじん」「大高菜」についてPRし、名古屋市の農業の歴史について知ってもらう機会とする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「野崎白菜」及び「野崎白菜」を使った加工品の販売</li> <li>・「八事五寸にんじん」と「大高菜」の種配布</li> </ul> </li> <li>② 中川商業高校の生徒が、ポスターのデザイン作成、「野崎白菜」を使った商品の開発および当日の運営サポートをすることで、伝統野菜を通して地産地消を学び、地元の農家との交流促進を図る。</li> </ul> </li> </ul>				
計画目標	地産地消フェアの開催 年1回				

No.	47	事業名	ベジファーマーの育成	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣旨	農家の高齢化や後継者不足により、耕作ができなくなった農地が区内で増えている。今後も高齢化や後継者不足が進み、耕作困難となる農地がより増加していくことが見込まれるため、新たな農業の担い手「ベジファーマー※ <sup>1</sup> 」を育成するとともに、農地バンク制度※ <sup>2</sup> を活用した農地の保全を図る。				
課題	農地の保全を図るため、より多くの新たな農業の担い手を育てる必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>ベジファーマーの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して、農家の指導のもと座学と実習を行い、野菜の栽培技術やノウハウを身に付けた「ベジファーマー」を育成する。</li> <li>受講生や修了生、農家が意見交流をする機会を設けて、農業を通じた区民の交流を促進する。</li> </ul> </li> <li>農地のあっせん <ul style="list-style-type: none"> <li>農地バンク制度について講座内で説明をし、制度を周知する。</li> <li>農地バンクを活用している講座修了生に実体験を話してもらう時間をつくり、新規就農を身近に感じてもらう機会を提供する。</li> <li>農地バンクへ登録を希望した受講生には、登録農地のあっせんをする。</li> </ul> </li> </ol>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベジファーマー育成講座の受講生 10名</li> <li>講座修了者の農地バンク情報登録者 5名</li> </ul>				

※1 ベジファーマー

野菜づくりを通して地産地消と緑豊かなまちづくりに取り組む新たな農業の担い手。

※2 農地バンク制度

農家が管理できなくなった農地を市に登録し、一定の条件を満たす希望者に紹介して貸借を支援する制度。

No.	48	事業名	地域の特産農産物のPR	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣旨	トマトや水耕ねぎ・みつば・レタスなど地域で盛んに生産されている農産物や、中川区発祥の伝統的な農産物（名古屋ちりめんハボタン・野崎白菜）について、区内の学校や農業者、企業と連携し、広報を行う。				
課題	中川区発祥の伝統的な農産物や地域で盛んに生産されている農産物の魅力を区民に効果的に発信する必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>農産物の広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>農政課窓口や地産地消フェア等のイベントを通じ広報を実施する。</li> <li>多様な広報媒体（チラシや紙芝居、SNS等）を用いて、幅広い世代への広報を実施する。</li> </ul> </li> <li>名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で種から苗を育ててもらうための資材を提供する。</li> <li>育てたハボタンの苗を学校花壇へ植栽するほか、地産地消フェア等のイベントで区民に配布する。</li> </ul> </li> </ol>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校</li> <li>野崎白菜栽培校 3校</li> </ul>				

No.	49	事業名	さまざまなメディアを活用した情報発信	区分	継続
担当課	地域力推進室ほか	関係部署(所)	—		
趣旨	広報なごや区版をはじめ中川区ウェブサイト、SNS※及び地域コミュニティ誌などさまざまなメディアを活用し、より多くの方に中川区の魅力を伝えていく。				
課題	紙面やサイト等の構成を、誰もが見やすくわかりやすい構成にすることに努めるなど、魅力の発信力を高めていく必要がある。				
事業内容	1 広報なごや区版、中川区公式ウェブサイト、SNSによる情報発信 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供				
計画目標	SNS※による発信件数 70件				

※SNS

Social Networking Service(Site)の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス(サイト)。会社や組織の広報としての利用も増えてきている。